

普通会計決算の概要

1 調査団体数

平成17年度財政状況調査の対象となった団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	25	37	78	159

2 決算規模

平成17年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成17年度(A)	平成16年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	1,011,711	1,027,776	98.4
歳 出	977,638	992,488	98.5
差 引	34,073	35,288	96.6

3 収支の状況

(1) 実質収支

ア 平成17年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、340億7千3百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源78億3千2百万円を差引いた実質収支は262億4千万円の黒字で、前年度と比べて14億3千7百万円減少した。

イ 実質収支をみると、159の全団体が黒字となった。

(2) 単年度収支

ア 単年度収支は72億9千2百万円の黒字で前年度と比べて54億5千7百万円増加した。

イ 実質単年度収支は、113億4千2百万円の黒字で前年度と比べて25億9千3百万円増加した。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は87億3千3百万円で前年度と比べて40億1千1百万円減少し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は44億7千8百万円で前年度と比べて5億8千7百万円減少した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は91億6千1百万円で前年度より17億3千5百万円減少した。